

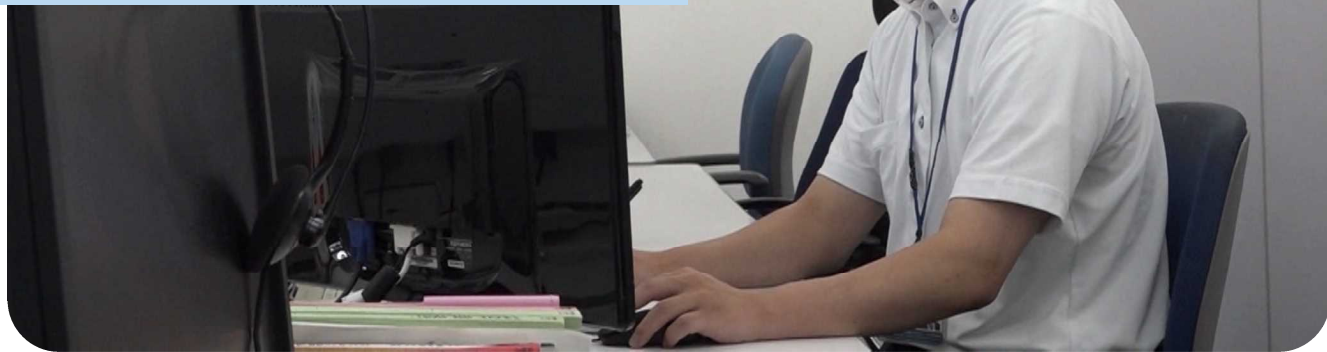
手をつなごうや 宇和島の未来のために

未来つながる 宇和島通信

2020年

3月

Vol.8



特集

宇和島でいきいきと働く若者

日常の中でも、地域の方がしょっちゅう話しかけてくれる。
人のあたたかさが宇和島の魅力。

宇和島に本社を構える株式会社ウォンズで、システムネットワーク管理を担当する池田将隆さん。松山南高校、愛媛大学理工学部数学科を卒業後、2015年に新卒入社しました。伊予市出身で、社会人になるまで宇和島とは接点がなかったという池田さんに、地元と離れた地・宇和島で働く魅力を聞きました。※ウォンズは2000年に設立以来、都内の大手メーカーやITベンダー、通信会社などに独自の商品を提供しているIT企業です。

仕事を楽しくそうに語る社員の姿に、入社を決意

ITに興味を持ったのは、大学でのプログラミングの授業。意図通りにプログラムが動く達成感が好きで、ロジカルにコードを書く緻密な積み上げも、数学に通じるところがある。独学で勉強する中、将来はITの道に進もうと考えるようになりました。

就職活動では、東京、愛知、静岡の企業を回り様々な選択肢を考えましたが「生活する」ことを考えたとき、大都会の慌ただしい空気の中暮らしている自分を想像できなかった。満員電車の通勤にも慣れる気がしなかったんです。暮らし慣れた県内で働く道も考えてみようと思地元に目を向け知ったのがウォンズでした。説明会に行くと、仕事を語る先輩社員の方がとてもいきいきとしていた。コールセンター事業のほかにシステム開発も手掛けていて、いつか開発をやりたいという思いもありました。入社後はコールセンター事業部に配属され、クライアント企業の受託案件に関わる質問・相談案件の対応、自社サービスに関するテクニカル面の対応などを任せられました。その後、スーパーバイザーのアシスタント業務を担当してから、現在はシステムネットワーク管理を行っています。システム関連の仕事につきたいという就活時の想いが形になったのは嬉しいです。

自然の豊かさと生活のしやすさが両立している

宇和島に来て5年になり、海も山も近い自然の豊かさと、商業施設がほどよく揃った生活のしやすさがとても気に入っています。自宅から会社までは徒歩か自転車で通勤でき、ストレスもありません。近所のスーパーやクリーニング店といったごく日常の買い物でも、地元の方がよく声をかけてくれるのは宇和島ならではの。その距離感やあたたかさは、宇和島の人たちの魅力だなと思います。

一方、宇和島の熱気を感じられるのは、年に1回、商店街で開催される「ガイヤカーニバル」。会社としても参加しているのですが、参加者のお祭りへの本気度にいつも圧倒されています。参加者はチームごとにそれぞれのダンスを披露し、その完成度も団結力もすごいんです。チームの垣根を越えて尊敬し合っているところにも、宇和島の地域のつながりを感じられてあたたかい気持ちになります。最近は将棋にハマっていて、商店街にできた将棋クラブに行ってみようかなと思案中。新しい趣味を通じて地元の方と交流ができれば、宇和島をもっと好きになるかも。これからも、自分からどんどん行動していきたいと思っています。



未来つながる宇和島プロジェクト SNSで情報発信中！



うわじま牛鬼@カナヘイ

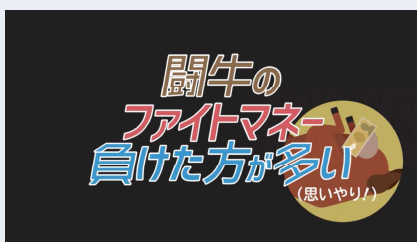
画面をさわるか、スマホの向きを変えて 楽しめる360度のVRクイズ！

Q 小説「世界の中心で、愛をさけぶ」の舞台となった神社の名前は？

A 三島神社

作者の片山恭一さんは宇和島出身。

他にも宇和島の様々なスポットがモデルとなっています。



みんな知ってる？宇和島あるある動画

- 闘牛のファイトマネー 負けた方が多い（思いやり！）
- 桜の開花が日本一早い



高校生ならではの発想力で宇和島の魅力を 再発見「高校生まちづくり課」

宇和島市主催のプロジェクト「高校生まちづくり課」。

夏休みに開催されたワークショップの様子を動画で紹介しています！



宇和島出身のプロたちが語る、 仕事と宇和島のこれから

国内外で道を切り開き第一線で活躍する3人に、仕事でかける思いや
離れて感じる宇和島の魅力を語っていただきました。



SNSで情報発信中！

YouTube



LINE@



facebook



instagram

